

「ウシとのふれあい！花菜ガーデン牧場」開催

5月5日（土）こどもの日、平塚市の県立花と緑のふれあいセンター花菜ガーデン（以下花菜ガーデン）で、湘南地域県政総合センター地域農政推進課と神奈川酪農活性化対策委員会が主催する「ウシとのふれあい！花菜ガーデン牧場」が開催されました。

当日の入園者数は3,713人と、過去2年間の同日入園者数よりも多い入園者数がありました（H29.5.5 2,778人、H28.5.5 2,442人、天候いづれも晴）。

地元酪農後継者グループのJA湘南角笛会（以下、角笛会）が主体となり、搾乳体験、酪農器具の展示と説明、子牛やヤギとのふれあい、たい肥の無償譲渡、ミニトラクター（子ども用おもちゃ）の試乗体験、ロールベールラップサイレージの展示（ラップの外側にお絵かき体験）、牛の等身大模型の展示、パネル展示等々盛りだくさんの展示物・イベントを準備し、酪農活性化対策委員会として酪農団体や行政（当所、畜産課、湘南地域県政総合センター、湘南家畜保健衛生所、平塚市）がお手伝いしながら実施しました。県牛乳普及協会の協力により県産牛乳の無料配布（513本）や骨密度測定会も行われました。

イベント開始早々に搾乳体験コーナーや県産牛乳の無料配布コーナーに長蛇の列ができたほか、たい肥の無償譲渡もイベント半ば頃には完配する等大盛況でした。搾乳体験で上手に搾れた子供達は、「搾りたての牛乳ってあったかいんだね！」と目を輝かせていました。

また、イベント当日、角笛会は花菜ガーデンに隣接する農畜産物直売所「JA湘南あさつゆ広場」にて直売所の協力の下、自分たちの生乳を使ったソフトクリームをテスト販売しました。イベントで搾乳体験をした方に割引券を配布するなどお客様を確保する工夫を凝らしていました。一方、ソフトクリームの購買者を対象に「商品そのもの」や「自分たちの取組み」に対する消費者からの評価を調査したいとの角笛会の要請を受け、当所では調査アンケートの作成と分析支援を担当しました。アンケート分析結果は今後の商品開発や角笛会の活動方針に活かされます。



（写真）左：「搾乳体験」、中「スタッフ集合写真」、右：「ソフトクリームテスト販売」